（３）　研究の全体構想図

＜めざす子ども像＞

主体的に学び合い、高まり合う子ども

具体的な姿
- ○　自分の考えを持ち、表現することができる。
- ○　自分の考えを伝え合い理解し合うことができる。
- ○　良さを認め合い、自分に生かすことができる。

＜学年ブロック毎に具体化した めざす子ども像＞

算数科

高学年
- ○自分の考えを根拠を明確にして伝える。
- ○相手の考えの根拠を考えながら聞き、自分の考えとの違いや共通点を明らかにして質問、意見を述べる。
- ○互いの考えからよりよい方法を探り、共有化、一般化する。

中学年
- ○自分の考えを分かりやすく伝える
- ○話の中心を考えながら聞き、自分の考えとの違いや共通点を明らかにして質問、意見を述べる。
- ○互いのよさを生かして課題を解決する。

低学年
- ○自分の考えを順序よく伝える
- ○大事なことを落とさずに聞き、分からないことを尋ねる。
- ○相手の考えのよい所を見つける。

国語科

高学年
- ○自分の思いや考えを相手意識・目的意識を持って話す。
- ○話し手の意図を考え、尊重しながら聞く。
- ○自分の立場や意図をはっきりさせて話し合い、話の共有化を図って考えを深めたり、広めたりする。

中学年
- ○自分の思いや考えを分かりやすく話す。
- ○自分の考えと比べながら最後まで話を聞く。
- ○自分の考えと相手の考えの違いや共通点をはっきりさせて話し合う。

低学年
- ○自分の思いや考えをはっきりと話す。
- ○相手の話を興味を持って聞く。
- ○話題からそれずに、思ったり、考えたりしたことを尋ねたり、話したりする。

主体的に学習する子ども　授業づくりを楽しむ教員　～学び合い、高まり合う授業づくりを通して～

学び合い、高まり合う授業づくり

教科のねらい（つけたい力）を達成するための学び合いのある授業づくり
～国語科・算数科を中心に、各教科で実践～

視点1　自分の考えを持ち表現する。

＜手立て＞（◎は全員共通で取り組む重点）
- ・児童の実態把握　・必要感のある課題（レディネステスト、支援計画表の活用など）
- ・課題や発問の吟味
- ・ＴＴ指導の工夫
- ◎ペア・グループ等の学習形態の工夫
- ・学習材やワークシートの工夫
- ◎特別支援の手法を取り入れた支援
- ・考えを書かせる活動・時間の確保　など

視点2　自分の考えを伝え合い理解し合う。

＜手立て＞（◎は全員共通で取り組む重点）
- ・目的意識・相手意識の明確化
- ◎ペア・グループなどの学習形態の工夫
- ◎特別支援の手法を取り入れた支援
- ・ＴＴ指導の工夫
- ・教師のコーディネート力の向上
- ・全員参加の工夫
- ・主体的な話し合いの工夫　など

視点3　良さを認め合い、自分に生かす。

＜手立て＞（◎は全員共通で取り組む重点）
- ◎ペア・グループなどの学習形態の工夫
- ◎特別支援の手法を取り入れた支援
- ・自分の考えを整理する時間の確保
- ・自分の考えが残せるワークシート・ノートの工夫
- ・学習感想の活用　・ＴＴ指導の工夫

知識・技能の習得
活用する力の獲得